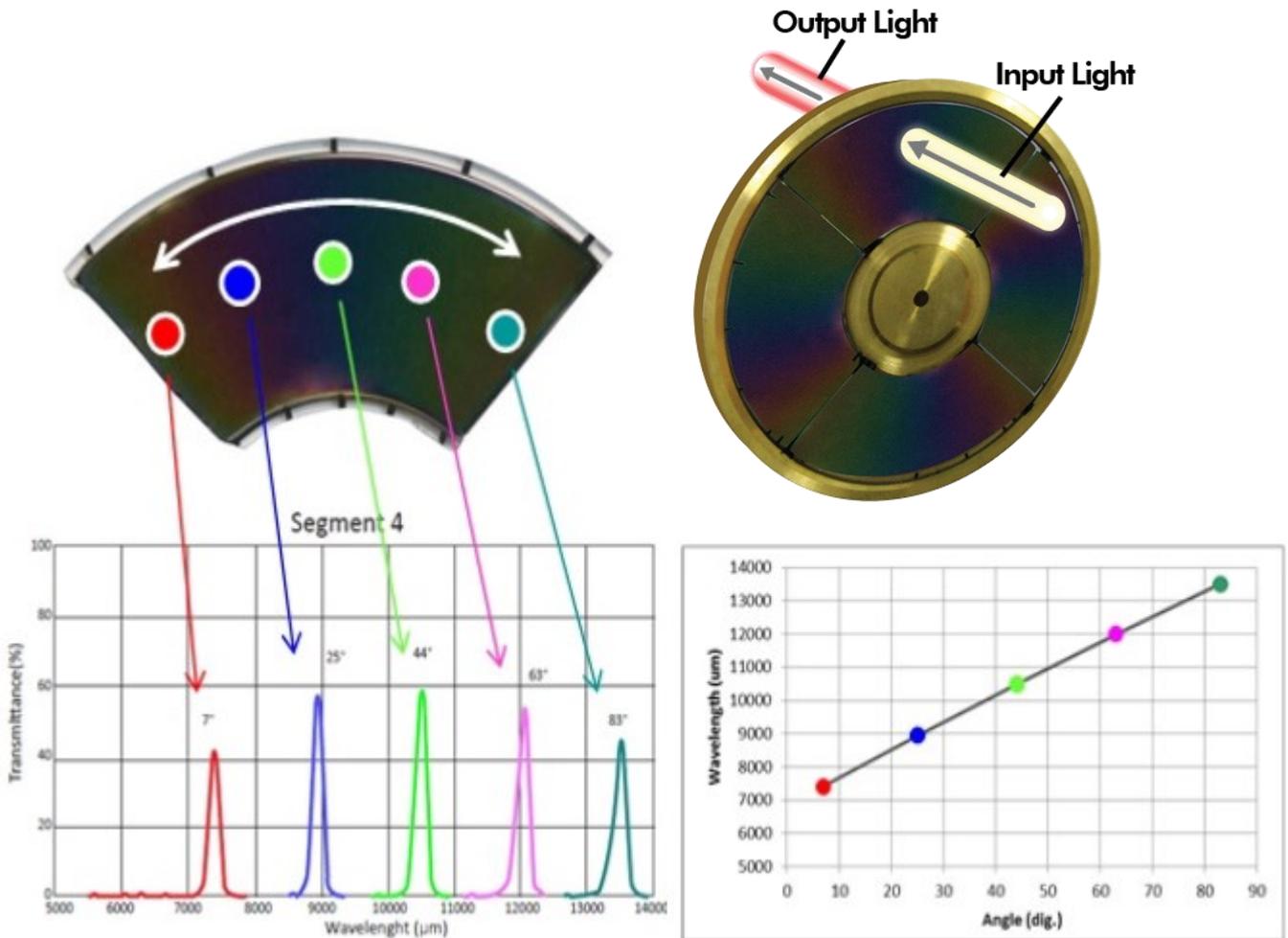


可視～遠赤外(400nm～14.3μm)の 連続波長可変 バリアブルフィルタ (全7種)



特 長

- ・ 透過波長は、フィルタの位置（回転角度）に応じて直線的かつ連続的に変化
- ・ 様々な波長のバンドパスフィルタとして使用可能
- ・ 回転させながら測定をすることで、波長スキャンが可能

アプリケーション

- ・ 小型モノクロメータ
- ・ 分光放射計
- ・ 顕微分光
- ・ 受光素子・発光素子などの評価
- ・ バンドパスフィルタ複数枚の代わりに

他の分光方式と比較して…

- ・ (干渉計に比べ) 振動に強い
- ・ 光学アライメントが容易
- ・ データ処理が容易
- ・ 波長範囲が広い

仕様

型番	CVF5a	CVF5b	CVF6	CVF1	CVF2	CVF3	CVF4
波長範囲	400-675 nm	650-950 nm	900-1350 nm	1.3-2.5 μm	2.4-4.6 μm	4.3-8.1 μm	7.7-14.3 μm
ブロッキング	0.3-1.15 μm	0.3-1.15 μm	0.3-2.6 μm	1-15 μm	1-15 μm	1-15 μm	1-15 μm
半値幅	2 %	2 %	2 %	2 %	2 %	2 %	2 %
ピーク透過率	>45 % (450-600nm) >15% (上記以外)	>35 %	>30 % (1μm以下) >50 % (1μm以上)	>50 %	>50 %	>50 %	>50 %

※半値幅は、ピーク波長に対する割合。透過スポット径2mm以下の時の代表値。

(CVF4の10μmの場合、10μm×1.8%=180nm)

※ブロッキング波長域での透過率=平均0.1%以下、ピーク0.5%以下

アクセサリ



フィルタマウント

CVFを最大4枚搭載可能な
フィルタマウント



回転モータシステム

フィルタマウントの回転・波長指定が可能な専用モータモジュール
ピンホールセット付属 (φ0.5mm、φ1mm、φ2mmのピンホール、
2×6mmのスリットの全4種類、ユーザーでの変更可能)

納品時に案内される波長関連情報/
ハイパーターミナルを用いること
で、指定波長にセットできます。

関連製品

CVF内蔵の分光放射測定装置



SR5000N

測定波長：1.3~14.3μm
放射輝度測定、燃焼測定など

単波長のフィルタ



光学フィルタ

バンドパス、ND
ロング/ショートパス

小型・低価格で中赤外分光



中赤外FPI分光センサ

測定波長：3.4~10.5μm(全4種)
ガス分析・成分分析など



株式会社アイ・アール・システム

〒206-0041 東京都多摩市愛宕4-6-20

TEL: 042-400-0373 FAX: 042-400-0374 e-mail: office@irsystem.com

<https://www.irsystem.com>

